

平成27年度アドバイザー派遣事業実施レポート

- 1 団体名 箕蚊屋中学校区人権・同和教育推進協議会
- 2 期日 平成27年7月28日（火）
- 3 研修場所 日吉津村コミュニティセンター ヴィレステひえづ
- 4 研修テーマ 箕蚊屋中学校区児童生徒意識調査の意義と結果分析
～福岡県における先行事例を参考にして～
- 5 アドバイザー 福岡県田川市立小中一貫校猪位金学園 教頭 田中 裕子 先生
- 6 研修の内容

「福岡県における先行事例を参考にして」を副題に、校区内小中学校及び幼稚園の教職員、保育園の保育士全員に参加を呼びかけて、全体研修会を実施した。校区内では、人権教育の推進を軸に連携を図っており、取組の効果測定のための児童生徒意識調査を昨年度に実施した。アドバイザーは、児童生徒意識調査の開発をてがけており、開発者の立場から、意識調査（自尊感情5領域テスト、自己・他者肯定テスト、人権意識アンケート）の意義について説明を受けた。分析については、昨年度に行った3小学校の6年生のデータを現在の中学1年生のクラス（5クラス）ごとに置き換えて、アドバイザーに結果分析をしてもらいながら分析結果の活用などについて協議を行い、最後に、指導助言をいただいた。この夏季休業中には、校区の小中学校で意識調査の再分析が行われ、校区の研究が進められる。



校区児童生徒人権意識実態調査について

アンケート

I 自分さが!

自分にあてはまる番号を黒く塗りつぶしてください。

- ①: はい ②: 少しはい ③: 少しいいえ ④: いいえ
- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 私は、他の人が自分のことをどう思っているか 気にします。 |
| 2 | 私は、筆を 読ものが 好きです。 |
| 3 | 私は、お家の人に 大切にされています。 |
| 4 | 自分の夢のことで 言えたいところがたくさんあります。 |
| 5 | 私は、自分のことが 好きです。 |

II 新しい自分を見つけよう!

自分にあてはまる番号を黒く塗りつぶしてください。

- ①: そうだ ②: ややそうだ ③: ややちがう ④: ちがう
- | | |
|----|--------------------------------|
| 36 | 私は、自分が 好きです。 |
| 37 | 私は、みんなから 好かれていません。 |
| 38 | 私は、生まれてから 大事に 育てられたと 思います。 |
| 39 | 私は、自分のことを 誇りたくなと 思うことが よくあります。 |
| 40 | 私は、お母さん 人を 信頼できないと 思います。 |

III 自分を振り返ろう!

次のことについてどう思いますか。自分が思う番号を黒く塗りつぶしてください。

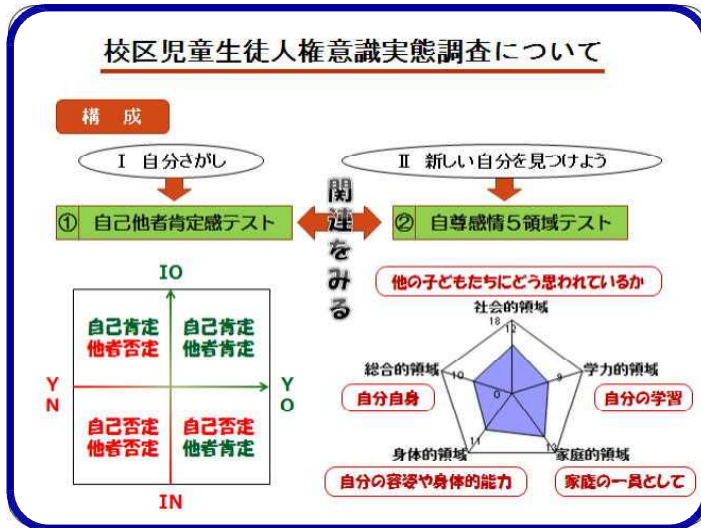
- ①: とてもよく思う ②: 少しよく思う ③: あまりよく思わない ④: 思わない
- | | |
|----|-------------------------------------|
| 76 | 大団の命は、みんな同じように大切にされていると思います。 |
| 77 | 小さな動物や虫も「生かされて生かされている」と思います。 |
| 78 | 病気やけがをしないようにいつも気を付けることは、とても大切なことです。 |
| 79 | 参加している友達のことをかわいそうに思います。 |
| 80 | 怪しかったり、いつも、役に立つことを話してくれると嬉しいです。 |

IV 生活を振り返ろう!

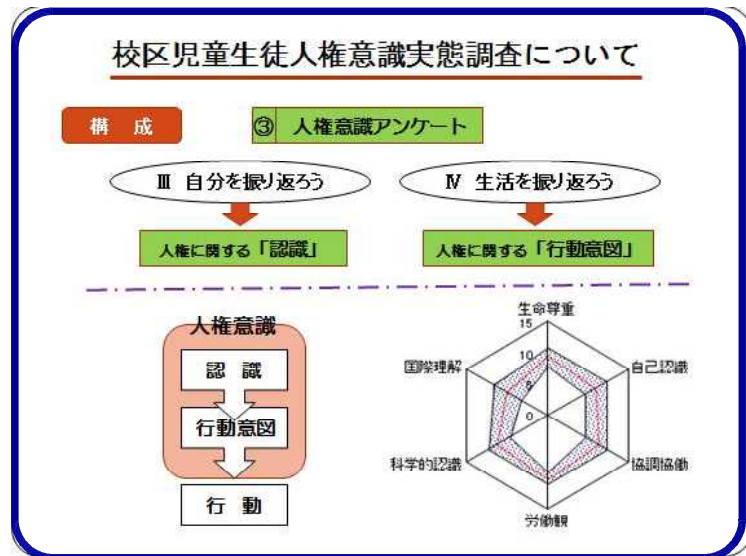
いつもの自分の行動について答えてください。あてはまる番号を黒く塗りつぶしてください。

- ①: はい ②: 少しはい ③: 少しいいえ ④: いいえ
- | | |
|-----|---|
| 106 | 友達や先生を出たり、けがをしたりしてつらそうにしている時、保護者に話さず、自分だけで解決しようとする。 |
| 107 | 学校や家で小さな動物や虫、花や植物の世話を嫌います。 |
| 108 | 怪しい人を見かけたら、話しかけようとする。いやではありません。 |
| 109 | 無理なことをして、病気やけがをしないようにいつも気を付けています。 |
| 110 | 誰か話している人が、聞いているのを聞いても、自分から声をかけない。 |

校区児童生徒人権意識実態調査について



校区児童生徒人権意識実態調査について



校区児童生徒人権意識実態調査について

③ 人権意識アンケート

特徴と留意点

- 人権に関する「認識」と「行動意図」は、相関関係にあり、（「認識」が高いと「行動意図」も高い。反対もいえる）
「認識」は「行動意図」より、数値の上では高い傾向にある。
⇒ 「認識」と「行動意図」の得点は、直接比較できない
- 「認識」と「行動意図」は中2まで、学年が上がるにつれて数値の上では低下する傾向にある。
⇒ 異学年の個人や集団の比較はできない
- 各領域の得点の分布は正規分布ではない。
⇒ 平均点と標準偏差による基準と比較できない

各学年・各領域ごとに「標準的な得点の範囲」を設定